

令和2年度当初予算記者会見事業一覧

番号	担当課	事業名
1	経営企画課	総合計画策定事業費
2	高齢者支援課	認知症対策事業
3	地域安全対策課	高齢ドライバー運転能力自己診断事業費
4	スポーツ課・上下水道総務課	みえ松阪マラソン事業費・水道事業会計繰出金
5	こども支援課・農水振興課・地域ブランド課	ふるさと特産品PR事業費(クラウドファンディング)
6	こども支援課	児童相談所(県)への職員派遣について
7	こども未来課	ワンモアベイビー支援対策事業
8	こども未来課	鎌田幼稚園遊戯室改修事業費
9	こども未来課	私立保育園管理運営事業費
10	こども未来課	病児・病後児保育事業
11	健康づくり課	母子保健事業費
12	生涯学習課	放課後児童クラブ活動事業補助金・放課後児童クラブ活動事業費
13	教育総務課	嬉野中学校校舎大規模改造事業費・共同学校事務室
14	教育総務課	原田二郎奨学金給付事業費
15	学校支援課	いじめ等対策事業費
16	経営企画課	大学誘致等基礎調査事業費
17	教育総務課	教育委員会事務局一般経費(学校規模適正化等検討委員会)
18	清掃政策課・清掃施設課	日曜日のごみ受け入れ、ごみ・分別ガイドブックの改訂
19	林業振興課・林業支援センター	高付加価値木材製品生産体制構築事業
20	観光交流課	国際交流員(CIR)活用事業費・まち歩き促進事業費
21	地域づくり連携課・飯南地域振興局・飯高地域振興局	地域おこし協力隊活動事業費・過疎地域魅力アップ整備事業費
22	建設保全課	道路事故対策白線等整備事業費
23	建築開発課	空家等対策事業費(まちなか空家利活用制度)
24	障がい福祉課	障害者日常生活用具給付等事業費
25	文化課	松浦武四郎記念館施設整備事業費
26	文化課	文化財センター施設整備事業費
27	防災対策課	一般木造住宅耐震補強等事業費補助金
28	戸籍住民課・市民税課	「書かない窓口」による総合窓口の実施
29	市政改革課	公共施設マネジメント推進事業費
30	財務課	庁舎等整備事業費
31	職員課	会計年度任用職員の給与にかかる予算

番号	1
事業名	総合計画策定事業費
予算額（主な支出）	8,184 千円（総合計画デザイン印刷代 3,989 千円、市民意識調査 2,728 千円）
特定財源	なし
事業の概要	総合計画の10年後の将来像を描くとともに、市民と行政が協働してどのようなことをやっていくかをまとめた「基本構想」と、その基本構想で示した施策に関する目標や課題、取組などを具体的に示した4年間の「基本計画」を策定する。
事業の背景など	人口減少や超高齢社会、過疎問題など、多方面からの効率的な対応がこれまで以上に必要になるとともに、限られた財源の中、新たな市民ニーズとは何なのかを見極め、お金と人材を何処へ投入していくのかを、十分に検討することが必要となっている。 また、昨年から専門的な見地から長期的な視点で検討をいただいている超高齢社会対策検討委員会での意見も取り入れることで、持続可能な松阪の将来像を描くことが必要である。
目的・効果など	市民と行政が協働して創り上げたまちづくりの方向性を示す道標として着実に計画を実行していき、将来像の実現に向け市民と一緒に取り組むことができる。
事業スケジュール	R2.2月 市民意識調査（3,000人） R2.7月～8月 市民懇談会 R2.8月～9月 中間案パブリックコメント R2.12月 議決（基本構想） R3.3月 総合計画公表
添付資料	なし
備考	なし
担当課	企画振興部 経営企画課 担当者：藤木・山路 電話 53-4319

番号	2
事業名	認知症対策事業 (認知症高齢者等個人賠償保険事業費と成年後見サポート事業費)
予算額(主な支出)	認知症高齢者等個人賠償保険事業費 829千円 成年後見サポート事業費 11,000千円
特定財源	なし
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者等個人賠償保険事業は、市が個人賠償責任保険に加入し、あらかじめ保険加入登録をした認知症の人が事故を起こした時に、被害者及び当事者に保険金を給付する。 ・成年後見サポート事業は、成年後見制度を充実させるために松阪市社会福祉協議会へ「成年後見センター」を設置する。業務内容は、市民への普及啓発、制度利用が必要な本人や家族への支援、法人後見人体制の充実。
事業の背景など	<p>高齢化の進展により認知症高齢者の増加が今後見込まれるなか、認知症により判断能力が衰えたり、無くなったことによる事故や損害賠償責任が社会問題となっている。平成19年、大府市のJR踏切で認知症高齢者による事故の裁判で、最高裁が家族に必ずしも監督義務や賠償責任があるわけでないという判決を出すなど、社会的な責任について考慮する必要性がでてきた。同様に認知症等で判断能力が無くなった人への成年後見人の必要性も高まっている。</p>
目的・効果など	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人を当事者家族が24時間見守り続ける事の難しさや、突然の事故に遭遇する被害者への賠償など多くの課題に対し、これまでにない制度として、当事者及び被害者への補償の一部を行政が担うことで、認知症になっても誰もが安心できる松阪市を目指す。 ・認知症の診断のため医療機関への受診を促し、早期に対応できるようにする。個人賠償保険制度を開始することにより、認知症の正しい理解が広がる。
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月までに「成年後見センター」を松阪市社会福祉協議会に設置。 ・令和2年8月までに、個人賠償保険制度の加入手続きとして、「徘徊SOSネットワークまつさか」の事前登録者約300名を対象に、保険制度の案内送付、保険加入の有無を把握。同時に市民にも保険制度の周知を行い、「徘徊SOSネットワークまつさか」と保険加入希望の申請を受付、登録者を決定、加入する。保険の加入には、医師による認知症の診断を必要とする。介護保険申請時の主治医意見書を活用する。保険は随時加入可。
添付資料	なし
備考	なし
担当課	健康福祉部 高齢者支援課 担当者：松田 電話 53-4368

番号	3
事業名	高齢ドライバー運転能力自己診断事業費
予算額（主な支出）	500千円（運転診断委託料 500千円）
特定財源	なし
事業の概要	<p>高齢者による交通事故を防止するため、75歳以上の高齢ドライバーにドライブレコーダーが装備された教習車を運転してもらい、ドライブレコーダーで自分の運転状況を記録し、自動車教習所の教習指導員から運転のアドバイスを受けながら、家族とともに、その記録映像を確認することで自分の運転を見直すことができる「運転能力自己診断」を実施する。ただし、運転免許更新期限の6か月以内の方は除く。また、交通安全教育指導員「とまとーず」による高齢者を対象とした交通安全教室に「認知機能検査」の一部を取り入れ、認知機能の低下を早期に自覚するきっかけとしていきます。</p>
事業の背景など	<p>2019年は、高齢ドライバーの交通事故が大きな社会問題になった。高齢者が運転する車の事故が全国的に注目される中、いつまで運転できるかの目安を考えたり、今後の運転を見直したりする機会にしてみようもの。</p>
目的・効果など	<p>今後増加する高齢ドライバーに対し、自己の運転能力を診断・判断する機会の提供をすることにより、松阪市の交通安全対策の一助となすもの。</p>
事業スケジュール	R2.5 中旬～ 事業実施予定
添付資料	なし
備考	なし
担当課	環境生活部 地域安全対策課 交通安全対策係 担当者：越川、脇野 電話 53-4061

番号	4
事業名	みえ松阪マラソン事業費 水道事業会計繰出金
予算額（主な支出）	60,529千円（事業負担金 60,000千円） 3,827,746千円（作製代 1,601千円）
特定財源	指定寄付基金 2,735千円
事業の概要	走る、みる、支える人たちのスポーツの輪を広げていくことを大会コンセプトに、三重県下で唯一となるフルマラソンを開催し、松阪の魅力を全国に発信する。また、みえ松阪マラソンと水道事業創設70周年記念がコラボレーションしたPR用の松阪の水のボトルドウォーターを作製する。
事業の背景など	平成27年3月8日に開催した第10回松阪シティマラソンから、総合運動公園を発着にしてハーフマラソンを実施してきたが、それ以来、フルマラソンの開催を希望する声が大きくなり、平成28年3月に実施した市民意識調査では、フルマラソンの開催をめざすことに賛同すると答えた方が5割を超えた。これを受け、開催の検討を進めていく中で、三重県に対しても開催協力を要望するとともに、平成30年7月に松阪市フルマラソン開催準備委員会を設立し、開催に向けて協議を進め、令和元年6月に準備委員会をみえ松阪マラソン実行委員会に改組し、第1回大会を令和2年12月20日に開催することとした。 また、令和2年は、水道事業創設70周年の節目の年であるのと同時に、松阪市の一大イベントであるみえ松阪マラソンが初めて開催される年である。松阪のおいしい水のPRは勿論のこと、みえ松阪マラソンの成功を祈念し、作製するものである。
目的・効果など	人口減少・超高齢社会を迎える中で、スポーツと連動したまちづくりを進めることで、年齢にかかわらず健康を維持する効果を期待するとともに、地域住民の結びつきを強め、地域の一体感を醸成していく。また、交流人口の増加、観光客の誘客などによる経済効果や、全国各地からランナーを呼び込むことなどによる、さらなる地域活性化が見込まれる。 また、みえ松阪マラソンとのコラボレーションにより、市内外を問わず、多くの方に「松阪のおいしい水」をPRできる。
事業スケジュール	R2.4 ボトルドウォーター作製契約 R2.6 ボトルドウォーター納品、配布 R2.12.20 みえ松阪マラソン2020開催、ランナーに配布
担当課	教育委員会事務局 スポーツ課 担当者：松林、川上 電話53-4359 上下水道部 上下水道総務課 担当者：前崎、鈴木 電話53-4371

番号	5
事業名	ふるさと特産品PR事業費（クラウドファンディング）
予算額	3,700千円
特定財源	ふるさと応援寄附金 3,700千円
事業の概要	<p>子育て支援や産業支援など自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方から寄附を募るクラウドファンディングを創設する。クラウドファンディングは、具体的に応援する事業を選択できるメリットがあり、寄附者の思いをより市民に繋げることができる。</p> <p>■クラウドファンディング対象事業</p> <p>①児童養護施設退所者等支援給付金 目標額 1,200千円 児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちは、原則、高校を卒業すると同時に施設等を退園しなければならず自立を求められる。そのため、進学を断念し、就職を選ぶ子どもたちが大半である。</p> <p>事業の背景など ○進学率 高校生全体（専門学校を含む）・・・7割以上 児童養護施設出身者・・・3割以下</p> <p>②ベルファーム施設整備事業費（ユニバーサルデザイン遊具設置） 目標額 2,500千円 公園に設置されている遊具のほとんどが、ユニバーサルデザインではないため、障がい者など誰もが楽しめる環境整備が必要である。</p>
目的・効果など	<p>① 児童養護施設退所者等支援給付金 進学機会が制約され、子どもたちが夢をあきらめてしまわないよう、進学後の家賃と一時金（指定寄附から）を助成することで、児童養護施設退所者等の自立を支援していく。 1,200千円（5万円×12ヵ月×2人（R3就学予定））※R3年度助成開始</p> <p>②ベルファーム施設整備事業費（ユニバーサルデザイン遊具設置） 年齢や障がいの有無にかかわらず、多くの人々が利用できる遊具を設置する。 2,500千円（R2年度設置）</p>
事業スケジュール	<p>R2.4 申込サイト作成 R2.7～12 クラウドファンディング募集</p>
添付資料	なし
備考	なし
担当課	<p>健康福祉部 こども局こども支援課 担当者：荒木 電話 53-4198 産業文化部 農水振興課 担当者：谷川 電話 53-4193 産業文化部 地域ブランド課 担当者：砂子 電話 53-4129</p>

番号	6
事業名	児童相談所（県）への職員派遣について
予算額（主な支出）	8,148 千円（給料、手当等）
特定財源	なし
事業の概要	こども支援課こども家庭支援係職員1名を児童相談所へ派遣する。
事業の背景など	新聞・テレビなどでは痛ましい児童虐待事件の報道が相次いでいる。 こうした中、虐待を未然に防ぎ、また発生した時には迅速・的確な対応ができるよう、地域における虐待防止体制を強化するため、児童相談所・市町間での積極的な連携に取り組むよう求められている。
目的・効果など	専門性の高い児童相談所職員として学ぶことで、市の家庭児童相談担当職員全体がレベルアップし、質の高い相談・支援が提供できることにより、児童虐待の未然防止・早期対応につながる。
事業スケジュール	R2.4.1～R4.3.31（2年間） 派遣期間
添付資料	なし
備考	なし
担当課	健康福祉部 こども局こども支援課 担当者：荒木 電話 53-4198

番号	7
事業名	ワンモアベビー支援対策事業
予算額(主な支出)	40,585千円
特定財源	—
事業の概要	<p>3人目以降の保育園、幼稚園にかかる費用を免除することにより、経済的負担を心配し、3人目以降の子どもを産むことをためらっていた人に子どもを産みやすい環境整備を行う。</p> <p>対象施設:市内の認可保育園及び幼稚園(公立及び私立) 対象費用:保育料、副食材料費(上限月4,500円) 対象児童:18歳までの兄弟がいる3人目以降の子(兄弟に就職している者、別居している者を含む) 申請方式:申込時の申し出による ※梅村幼稚園は別途 交付方法:免除(元から徴収しない) ※梅村幼稚園は別途</p>
事業の背景など	<p>市長公約 「松阪市子育て支援に関するアンケート調査(平成31年3月松阪市)」の結果、理想と実際の子ども的人数に差がある部分について、「経済的な負担」が大きな要因の一つであることが考えられ、その負担を軽減すべく当事業を実施する。</p> <p>※調査結果の内容 未就学児の保護者対象として1500人に配布、900人から回答。 実際の3人きょうだい17.0% 理想とする3人きょうだい40.3%</p>
目的・効果など	3人目以降の保育園、幼稚園にかかる費用を免除することにより、子どもを産みやすい環境整備を行う。
事業スケジュール	R2.9～ 事業開始
添付資料	なし
備考	・1年間実施の場合の予算額:69,054千円 ・現行制度(多子軽減)内容:国基準は、兄弟の年齢を「保育園は就学前、幼稚園は小学3年生」から算定基準とするが、市の独自施策として、この年齢を「18歳未満」からとし、多子軽減の適用範囲を拡大する。
担当課	健康福祉部 こども局 こども未来課 担当:谷中 電話53-4032

番号	8
事業名	鎌田幼稚園遊戯室改修事業費
予算額(主な支出)	53,801千円
特定財源	合併特例債 51,100千円
事業の概要	令和2年3月に鎌田幼稚園に隣接する第四公民館が鎌田中学校に移転することから、第四公民館の1階を遊戯室として改修する。 加えて、第四公民館の敷地を駐車場として利用することで、保護者の送迎用駐車場不足を解消する。
事業の背景など	平成31年4月から全幼稚園の3歳児保育を開始したことにより、園児数が増加し、鎌田幼稚園においては、遊戯室を保育室として兼用し運営している状況である。(H30.4園児数22人→H31.4園児数50人) 令和元年度においても、必要に応じて配膳室やトイレの改修工事を実施しているが、限られた園敷地内で遊戯室を確保することは極めて困難であり、保護者等の要望である遊戯室の確保にいたっていない。
目的・効果など	鎌田幼稚園に隣接する第四公民館が鎌田中学校へ移転することにもない、第四公民館を遊戯室として改修することで、園児の保育環境の向上と既存市有施設の有効活用が図れる。
事業スケジュール	R2. 5～ 実施設計業務委託 R2.10～ 遊戯室改修工事 着工 ※工事概要(予定) → 遊戯室、トイレを改修、園舎から渡り廊下を設置 R3. 3 工事完成(予定)
添付資料	なし
備考	
担当課	健康福祉部 子ども局 子ども未来課 担当:谷中 電話53-4032

番号	9
事業名	私立保育園管理運営事業費補助金の拡充 ①潜在保育士へ就職準備金、②勤続報奨金 勤続3年追加
予算額(主な支出)	①1,000千円、②1,380千円 (総額158,678千円の内)
特定財源	—
事業の概要	<p>「私立保育園」に対する補助金のメニューの拡充</p> <p>①潜在保育士へ就職準備金 これまで市外からの転入者のみに支給していた「就職準備金」について、新たに松阪市の実施する潜在保育士講習を受講した方が、市内私立保育園に常勤保育士(及び常勤並み、勤続3年を条件)として就職した場合、合計20万円(1年目10万円、2年目10万円)を支給する。</p> <p>②勤続報奨金 勤続3年追加 私立保育園の保育士が退職せず長く働いていただけるように支給している「勤続報奨金」について、これまで勤続5年、勤続10年、勤続15年、勤続20年の支給に加え、新たに勤続3年の方についても支給する。</p>
事業の背景など	<p>近年、私立保育園において、施設の増改築を実施し、利用できる定員の増加を行っており、ハードとしては、多くの子どもを受け入れられる体制が整ってきている。</p> <p>しかしながら、現実として運用面については、保育士不足により、実受入数が想定より伸びていない状況があり、待機児童が発生(国基準:H31.4.1現在で31人(1歳14人、2歳17人))している状況である。</p> <p>また、近年、就職したものの3年未満で退職する保育士が多いことから、勤務を続けるモチベーションを保つきっかけを提供したい。</p>
目的・効果など	私立保育園で勤務いただく保育士数が増加し、保育現場の環境改善と、より施設規模に近づいた児童の受入れを行うことで待機児童の解消に寄与する。
事業スケジュール	①R2.4～ 4月以降勤務を開始する潜在保育士から適用 ②R2.4～
添付資料	なし
備考	・令和元年度中の市内私立認可保育園(15園)の退職者状況は、全退職者25名に対し、うち10名(全退職者に占める割合40%)が3年未満で退職となっている。
担当課	健康福祉部 こども局 こども未来課 担当:谷中 電話53-4032

番号	10
事業名	病児・病後児保育事業の拡充 ①送迎、②時間延長
予算額(主な支出)	5,000千円(総額28,154千円の内)
特定財源	3,333千円
事業の概要	<p>①病児病後児の送迎 保育園において保育中に体調不良となった児童を、緊急対応できない保護者の要請を受け、病児・病後児保育施設の看護師等がタクシーにて送迎し、併設医療機関で受診後、保護者が迎えに来るまで病児・病後児保育をするサービス。</p> <ul style="list-style-type: none">・開始日:令和2年度内(施設の態勢が整い次第)・実施機関:病児・病後児保育施設「ミー」(安田小児科内科併設)・事前登録制・園から施設へのタクシー料金、診察料等は、実費徴収 <p>②病児病後児保育の時間延長 利用時間の終了時刻を17時から18時に1時間延長する。</p> <ul style="list-style-type: none">・開始日:令和2年度内(施設の態勢が整い次第)・実施機関:総合託児施設「アリス」(おおはし小児科併設)、 病児・病後児保育施設「ミー」(安田小児科内科併設)・17時以降の利用については、追加料金が必要。
事業の背景など	松阪市では入院の必要はないが完治しておらず、集団保育が困難な児童をもつ保護者が、安心して就労できるよう、医療機関に委託し、該当児童を一時的に保育する病児及び病後児保育を実施している。就労形態の複雑化や核家族化が進むなか、保護者が安心して子育てをし、子どもたちが笑顔で成長していくため、事業内容の充実を図る。
目的・効果など	<p>①病児病後児の送迎 保育園において保育中の子どもの発病にも関わらず、仕事を中断できず対応に苦慮する保護者への支援と子どもにとって必要な病児保育の環境を迅速に整えることを目的とする。</p> <p>②病児病後児保育の時間延長 利用時間の延長により保護者へ安心できる就労環境を提供し、子育てとの両立を支援する。</p>
事業スケジュール	令和2年度内(施設の態勢が整い次第)に開始
添付資料	なし
備考	
担当課	健康福祉部 こども局 こども未来課 担当:谷中 電話53-4032